



JForest 熊本県森林組合連合会

森林組合だより

FOREST ASSOCIATION COMMUNICATION PAPER

第178号

平成28年10月発行

発行所
熊本県森林組合連合会〒861-8019
熊本市東区下南部2丁目1-55
TEL (096) 285-8688
FAX (096) 285-8651
発行人 前川 収
<http://www.kumamori.or.jp>

びしゃもん おおひのき

毘沙門の大桧

(球磨郡湯前町)



県内にも巨樹は沢山あるが、ヒノキの巨樹はあまり多くなく、上益城郡美里町に大藪山神のヒノキがある程度。

この「毘沙門の大桧」は球磨郡錦町から湯前町に至る県道43号の道沿いにそびえている。そのヒノキは二株あり、向かって左側の株は幹回りが約4.7m、右側の株は3.1m、樹高はともに24.8mあり、樹齢は500年を越えると推測されている。

なお、この大桧は湯前町の天然記念物に指定されており、球磨地方の時代の変遷や庶民の日々の生活を眺めてきたと考えると、なにか畏敬の念を感じざるを得ない。

また、毘沙門堂については仏壇内部の墨書から慶応元（1865）年に修理を施されたことが分かっており、江戸期の毘沙門天像や西米良村新立寺の修験僧大円作の菩薩像がある。

この毘沙門堂は、相良新四国八十八ヶ所第三十二番札所になっており、境内には庚申塔などがある。



今回の『森林組合だより』は、九州各県森連による次年度予算確保のための要望一本化に向けた会議や要望活動と、森林組合基盤強化の為に実施した各種研修会の活動報告を取り上げました。

また、今年の8月16日に北海道でマダニ媒介性脳炎による死亡者が出たことを受け、マダニ媒介性疾患の概要とマダニ予防や、発病してしまった場合の対処法などを詳しくまとめました。

平成29年度 森林・林業政策・予算に関する要望活動

日時：平成28年8月29日(月)～31日(水) 場所：東京都千代田区(林野庁他)

戦後に造成された人工林は本格的な利用期を迎えています。木材価格の長期低迷により森林資源の循環利用が十分に行われていません。その結果、森林整備が適切に行われない箇所が増加し、森林が有する公益的機能の持続的発揮が危惧されています。また、人工林の齢級構成は若齢林が極端に少ない偏った状況であり、将来における持続的な国産材供給が不安視されることから、早急に計画的な主伐、再造林に取り組むことが課題となっています。

このような中、CLTや木質バイオマス発電の原料として国産材の活用が進んでいますが、価格の安い低質材の動きが活発であり、良質なA材や大径材及びヒノキ等の需要喚起が必要です。

一方、林業関係予算は補正も含め不足しており、九州各県においても様々な事業に支障が出ています。森林機能の維持、充実のためにも予算確保が重要な課題になっているので、九州各県森林組合連合会では要望事項を集約し、連名で要望することにしました。

本会では、林野庁から財務省に対する平成29年度予算の概算要求が8月に提出されることから、要望活動を行いました。30日には本県選出国會議員全員(7名)に出席して頂き要望活動及び意見交換会を開催し、翌31日には、松村経済産業副大臣を表敬訪問しました。その後、林野庁長官室において、本県林政連が推薦した進藤 金日子参議院議員と共に、林野庁幹部に対し要望活動を行いました。



本県選出国會議員と意見交換会



松村経済産業副大臣を表敬訪問

要望事項

- 森林環境税(仮称)の早期実現と
森林整備に必要な安定財源の確保
 - ・ 森林環境税(仮称)の早期実現
 - ・ 森林整備等に係る地方財政措置の推進及び充実
 - ・ 公共造林事業、次世代林業基盤づくり交付金等の拡充・強化
 - ・ 熊本地震からの早期復興
- 資源循環型林業の実現の確立
 - ・ 主伐及び再造林の一体的実施に対する支援
 - ・ 基盤整備のための支援
 - ・ 再造林の支障となるシカの駆除等に対する支援
 - ・ 非住宅や中高層建築物等における国産材利用促進
- 森林境界の明確化等の推進への支援
 - ・ 森林整備等を実施するために必要な森林境界明確化の促進
 - ・ 施業集約化の促進のための支援
- 人材の確保・育成の推進
 - ・ 「緑の雇用」現場技能者育成推進事業予算の安定と定着
 - ・ 森林施業プランナーの育成への支援



金子、坂本両代議士、進藤参議院議員と林野庁長官室にて

九州各県森林組合連合会専務等会議開催

日時：平成28年8月12日(金) 場所：クレーージュリゾート

前述した、平成29年度政府予算要望活動で使用する九州各県森林組合連合会連名での要望書を作成するため、九州各県森連の専務等が本県に参集し、要望書の内容について協議を行った。

九州・沖縄とはいえ各県それぞれ異なった問題を抱えているが、大きく捉え上記要望事項として取りまとめた。



森林保険業務講習会開催

日時：6月15日(水)～17日(金)

場所：熊本市芳野コミュニティセンター

森林保険の現状をみると被災地における損害実地調査を行う人材が不足しており、保険金支払いが遅延するなどの弊害が見受けられる状況となっています。このような状況が続けば森林保険への新規加入も望めず、被災した際の被災地復旧や林業経営の安定化等に多大な影響が出ることが危惧されます。

そこで、森林保険業務に携わる森林組合職員を対象として、損害調査を実施し被害程度を確定させる者（森林保険実査業務従事適格者）を育成する講習会を開催したところ、30名の参加がありました。

森林保険センターから講師3名を招き、別表の内容及びスケジュールで講習会を実施しました。1日目は森林保険業務の概要や処理の流れなどを学び、2日目は損害調査対象森林を想定し現地実習を行いました。最終日には、参加者を代表して玉名森林組合の池上葵さんに平浪浩二森林保険センター参事から修了証書が授与されました。



講習会風景

講習会の内容及びスケジュール

| 月日 | 内容 |
|----------------|--|
| 6月15日 (1日目) | 開会式 【午後】 ・森林保険の取組について ・森林保険の基本事項 ・契約業務の流れ ・填補事務の流れ ・立木評価 |
| 6月16日 (2日目) | 【午前】 ・損害填補現地実習 （幼齢林・壮齢林） 【午後】 ・損害調査報告書作成（幼齢林） ・報告書作成の留意点 ・システムによる報告のポイント ・保険事故認定のポイント |
| 6月17日 (3日目) | 【午前】 ・損害調査報告書作成（壮齢林） 修了書授与式 閉会式 |

損害填補現地実習



修了証書授与式

地方財政措置を活用するための対応について

平成5年に「森林・山村に係る地方財政措置」が創設されて以来、地方財政措置は時々の課題に応じて拡充されるなど、継続的に措置されてきました。

平成28年度は従来の対策のほか、『森林吸収源対策等の推進を図るための地域の主体的な取組に要する経費に対し、地方財政措置が講じられています。』これらは、県や市町村が主体となって森林整備を進

めていくためのものであり、県や市町村が独自予算を組むことによって初めて森林・林業分野に活用することが可能となります。

このため、『私たち森林組合系統で具体的な事業を県や市町村に企画・提案し、予算化して頂くことが必要です。』従って、その働きかけを強めることが重要となります。

各種研修会の開催

本年度も当連合会では、会員の要望を取り入れつつ、会員組合の職員のスキルアップを図るため、各種研修等を実施しました。

今回は、6月から8月にかけて実施した研修会を紹介します。

1. 森林施業プランナー1次試験対策

開催日：平成28年6月28日(火)

開催場所：畜産会館 4階会議室

対象者：平成28年度森林施業プランナー受検者

講師：国立研究開発法人 森林総合研究所
林業経営・政策領域林業システム研究室
鹿又 秀 聡 研究員

内容： まず、鹿又講師が作成した今年度1次試験の想定問題に挑戦した。

その後、鹿又講師が問題の解説を行った。その中で、特に提案型施業の経費や収入等の計算については毎年出題されていることから、実際に電卓を用いて計算のやり方等を確認した。

最後に、過去の出題傾向と重要項目を解説し、試験対策研修会を終了した。



2. 森林組合初任者研修

開催日：平成28年7月5日(火)

開催場所：畜産会館 4階会議室

対象者：森林組合に入社3年未満の職員

講師：熊本県森林組合連合会
指導部 佐藤 善之 次長
日本サービスマナー協会
木下 亜沙希 氏

内容： まず、本会の佐藤次長が森林組合の性格、役割などについて経験を踏まえ説明をした。

午後からは、木下講師が、あいさつや身だしなみ、言葉遣いなど社会人として必要なマナーや職場での責任について指導した。

本年4月から社会人となった受講生も6名参加していたことから、学生と社会人の違いや自覚についても念入りに説明があった。



3. パソコン教室

開催日：平成28年8月（計6回）

開催場所：熊本市流通情報会館
6F パソコン研修室

対象者：パソコン操作初級から中級希望者

講師：@はっぴいパソコン教室
中島 まゆみ 氏

内容： Word、Excelは日ごろから操作し使い慣れている職員は多いと考えられるので、初級より若干難易度の高い中級の講座を実施した。

また、昨年度実施したパソコン教室に対する意見として、Accessの講座を増やして欲しい旨の要望があり、今年度はその初級講座を4回にわたり実施した。

現在、会員職員の多くがパソコンにタッチせざるを得ない環境となっており、事務の効率化等を考えると、今後も講習等を充実させることが必要ではないかと考えている。



■ パソコン教室スケジュール

| 開催日 | 講座名 | 講座内容 |
|----------|------------|---|
| 8月5日(金) | Word 中級 | ・差し込み文書 ・インデントの設定 ・図形描画の作成 |
| 8月10日(水) | Excel 中級 | ・データの入力規則 ・フィルター ・関数 ・ピボットテーブル ・グラフ作成 |
| 8月12日(金) | Access 初級① | ・Accessの基礎知識 ・データベースの作成 ・テーブルによるデータの格納 ・リレーションシップの作成 ・クエリによるデータの加工 |
| 8月19日(金) | Access 初級② | ・フォームによるデータ入力 ・クエリによるデータ抽出と集計 |
| 8月26日(金) | Access 初級③ | ・レポートによるデータの印刷 ・ナビゲーションフォームの作成 |
| 8月31日(水) | Access 初級④ | ・ピボットテーブル・グラフの作成 ・練習問題（復習） |

『林業会館』の現状

本会の所有する「林業会館」が、この度の熊本地震で被災し全壊したことは第177号でお知らせいたしました。9月9日に解体工事の完了を確認しました。解体中及び更地となった状況写真をここに掲載いたします。

全国の森林組合系統及び関係機関から多くの心温まる激励やご支援を頂きました。皆様には、一日も早い復旧をお約束し、ここに厚くお礼申し上げます。



解体中の林業会館（8月1日撮影）



解体後の林業会館（9月19日撮影）

マダニ対策万全に! 《ダニ媒介性疾患を防ぐ》

平成28年8月16日、北海道の40代男性がウイルスを持つマダニに咬まれ、「ダニ媒介性脳炎」を発症し、死亡していたことが明らかになりました。

この事態を受け、本県でもマダニ対策への喚起を再度実施しており、森林組合においてもマダニ対策に万全を尽くし、安全を確保して山仕事に従事してください。

I ダニ媒介性疾患とは?

マダニに噛まれることで病原体に感染し、ダニ媒介性脳炎や重症熱性血小板減少症候群(SFTS)などに疾患し、重症化、最悪の場合死に至る恐れもある。

II ダニ媒介性疾患の種類と特徴

1. ダニ媒介性脳炎

病原体を保有したマダニに咬まれることで感染し、7～14日の潜伏期間を経て発症する。発熱、筋肉痛などのインフルエンザ様症状が出現し、2～4日間続く。発症者の約3分の1は髄膜脳炎に進展し、痙攣(けいれん)、眩暈(めまい)、知覚異常などがみられる。

2. 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

2011年に発見された、新しいウイルス(SFTSウイルス)によるダニ媒介性感染症。症状としては、発熱、倦怠感、消化器症状、リンパ節腫脹などがあり、致死率10%以上といわれている。2013年には、西日本の12県でSFTS患者が報告されており、熊本県でも2名が罹患している。

3. 日本紅斑熱

病原体を保有したマダニに咬まれることで感染し、2～8日の潜伏期間を経て発症する。発熱、発疹、刺し口が主要3徴候であり、倦怠感、頭痛を伴う。熊本県では発生していないが、過去に鹿児島県や宮崎県で発生しているため注意が必要。

4. つつが虫病

つつが虫病リケッチアを保有するツツガムシに噛まれて感染する。5～14日の潜伏期の後に、全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、発熱などを伴って発症する。

III マダニはどこに生息しているの?

シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息している。また、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しているため、これらの場所で活動する際には長袖・長ズボンを着用する、虫よけスプレーを使用するなどの対策を講じる必要がある。

IV 熊本県に生息するダニは?

マダニは世界で800以上の種が知られており、日本ではそのうち47種が生息している。熊本県内では主に、フタトゲチマダニ、タカサゴキララマダニ、キチマダニ、ヤマアラシチマダニ、オオトゲチマダニ、フタトゲチマダニ、ヤマトダニなどが生息しています。



フタトゲチマダニ



タカサゴキララマダニ

VI マダニから身を守るにはどうすればいい？

1. マダニから身を守る服装

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。

シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。

半ズボンやサンダル履きは不適當です！

ハイキングなどで山林に入る場合は、**ズボンの裾**に靴下を被せましょう。

農作業や草刈などでは**ズボンの裾**は長靴の中に入れてみましょう。

2. マダニから身を守る方法

上着や作業着
家の中に持ち込まないようにしましょう。

屋外活動後は、**シャワーや入浴**で、ダニが付いていないかチェックしましょう。

ガムテープを使って服に付いたダニを取り除く方法も効果的です。

ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

【参考資料】 国立感染症研究所の規約に従い、参考資料の出典を掲載

- ①「マダニ対策、今できること」（国立感染症研究所）
- ②「ファトゲチマダニ」の画像（welio辞書 衛生写真館）
- ③「タカサゴキララマダニ」の画像（国立感染症研究所）



熊本県人権啓発マスコットキャラクター「ココロ」

『くらしと人権』 =気づこう、そして考えよう=

- ♡ 「人権」とは
人は誰でも自分らしく、そして幸せに生活するという基本的な権利を生まれたときから持っています。この権利を「人権」といいます。
- ♡ 「人権問題の解決」のためには
私たち一人ひとりが、相手の立場に立って考え、自分の言動に責任を持つことが重要です。

「熊本県では、結婚や就職の際の部落差別につながるような 身元調査が条例で規制されています。」

新規職員紹介



指導部 指導課

高田 葵
たか だ あおい

【入社日】平成28年4月1日
【出身地】熊本県熊本市
【出身大学】東京農業大学
【趣味】道の駅巡り、読書

現在、指導課で補助金事業の事務作業や現場の監督・検査や指導等を担当しています。

大学では森林政策学を専攻し、主に林業の歴史や山村振興などについて学んできました。

森林や林業に関する一般的な基礎知識は身につけましたが、現場で見聞きするものは机上で学んだものとはかなり違っており、これからいろいろ吸収していきたいと考えておりますので、ご指導の程よろしく申し上げます。



森林調査部 森林調査課

西橋 修弘
にし ぼし のぶ ひろ

【入社日】平成28年4月1日
【出身地】熊本県熊本市
【出身大学】鹿児島大学
【趣味】クロスワード、ツーリング

大学では、森林動物と人との関係性を研究していました。

調査業務を担当していますが、分からないことも多く、諸先輩方に指導していただきながら、日々真剣に取り組んでいます。

これから様々な経験を積み、今以上に努力し、成長していきたいと思っていますので、よろしく申し上げます。



指導部 利用課

執行 良子
し ぎょう りょう こ

【入社日】平成28年5月1日
【出身地】熊本県熊本市
【趣味】水泳

現在、利用課で森林保険事務及び監査室で監査業務の担当をしています。

全般的な事はまだまだ把握できていませんが、しっかりと学習してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

大切な森林を安心して育てましょう!

加入してよかった!

森林保険

台風、山火事などの災害による森林の損害に備え、**森林保険**にご加入ください。



森林保険
イメージキャラクター
マモルくん

保険金お支払いの対象となる8つの災害

火災
山火事で受けた損害

風害
暴風による幹折れ、根返りなどの損害

水害
豪雨、洪水による埋没、水没、洪水などの損害

雪害
大量積雪による幹折れ、根返りなどの損害

干害
乾燥による枯死などの損害

凍害
凍結、寒風などによる枯死などの損害

潮害
潮害、潮水浸水などによる枯死などの損害

噴火災
火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

お申し込みは…お近くの森林組合、熊本県森林組合連合会の窓口まで!!

お知らせ 国内の木材自給率50%の達成を目指して、平成24年度から森林計画制度や補助制度が大幅に変わりました。詳しくはお近くの森林組合へご相談ください。



熊本県森林組合連合会 熊本市東区下南部2丁目1-55 TEL096-285-8688(利用課)